

令和5年10月30日

一関信用金庫

宮城県が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

一関信用金庫（理事長 菅原 一由）は、宮城県が発行する「サステナビリティボンド」に投資しましたので、お知らせいたします。

「サステナビリティボンド」とは、地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に資する「グリーン適格プロジェクト」もしくは海洋保護や持続可能な漁業などに資する「ブルー適格プロジェクト」および様々な社会課題の解決に資する「ソーシャル適格プロジェクト」の双方に関連する支出に充当する債券をいいます。

宮城県は各種原則やガイドラインに基づいて「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定しており、4つの柱（調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポート）について定めています。

当金庫では、今後も事業活動を通じて「持続可能な社会の実現」を目指し、SDGsの達成に貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

銘柄名	宮城県公募公債第1回第1号（5年・サステナビリティボンド）
年限	5年
発行日	令和5年10月30日
適合性評価	株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が公表するグリーンボンド原則2021、ソーシャルボンド原則2023、サステナビリティボンド・ガイドライン2021、環境省が公表するグリーンボンドガイドライン2022年版、金融庁が公表するソーシャルボンドガイドライン2021年版および国際金融公社（IFC）が公表するブルーファイナンスのガイドラインへの適合性に関するセカンドオピニオンを取得
資金使途	・グリーン適格プロジェクト分類に該当する対象プロジェクト ・ブルー適格プロジェクト分類に該当する対象プロジェクト

・ソーシャル適格プロジェクト分類に該当する対象プロジェクト

※これらの対象プロジェクトへの充当資金は、SDGs のなかで、以下のゴールの達成に貢献するものと考えられています。



以上



＜本件に係るお問合せ先＞
 一関信用金庫 総合企画部資金証券課
 電話 0191-23-6111（代表）



そすたぬき 有華©